

製造業は横ばいに止まるも建設業と小売業が大幅に改善。サービス業も改善し、全体的には回復傾向!

— 2018年4月～6月期 中小企業景況調査報告書概要 —

日銀が7月2日に発表した6月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業・製造業でプラス21と、前回より3ポイント悪化した。原油高による原材料費の上昇の影響が幅広い業種で出ている。一方、大企業・非製造業の業況判断指数はプラス24と前回より1ポイント改善している。改善は4期ぶりのことである。インバウンド需要により宿泊・飲食サービスが好調であり、運輸など幅広い業種でも需要が好調となっている。ただ、中小企業においては、人手不足による人件費上昇等の影響が広がっており、中小企業・製造業の業況判断指数は前回より1ポイント悪化しプラス14、中小企業・非製造業は2ポイント悪化してプラス8となっている。

3か月後の先行きの見通し(2018年9月予測)は、大企業・製造業がプラス21と今期と横ばい、大企業・非製造業は3ポイント悪化のプラス21と見込んでいる。トランプ米政権の保護主義による貿易摩擦、原油高による原材料高、人手不足による人件費の増加等が不安視される。中小企業においては、製造業が今期より2ポイント悪化しプラス12、非製造業は3ポイント悪化しプラス5と予測しており、大企業以上に先行きに不安を感じ慎重な見方が多くなっている。

内閣府が6月19日に発表した6月の月例経済報告においては、国内景気は「景気は、緩やかに回復している」という判断を据え置いている。これで、今年の1月から6ヶ月連続で同様の表現となっている。6月の月例経済報告では、個人消費と輸出が「持ち直している」など、ほとんどの項目で5月の判断を据え置いている。

商工会地域の景況調査においては、今期(2018年4月～6月)の業況に関するD・I値は、製造業が前期と横ばいの±0.0、建設業は22.0ポイントと大幅に改善しマイナス4.1、小売業も20.5ポイントと大幅に改善しマイナス28.2、サービス業は5.5ポイントと小幅ながら改善しマイナス17.0となっている。前期は、製造業だけが改善し他の業種は悪化となり、D・I値も大きな開きがあった。今期は製造業が横ばい止まり、建設業、小売業、サービス業が揃って改善に転じ、業種間の差も縮まっている。中でも、建設業は22.0ポイント改善しマイナス4.1となり、マイナス局面からの脱却も視野に入る。小売業も3期連続でマイナス40の大台を超えていたが、20.5ポイント改善したことで今期はマイナス28.2まで改善している。

来期(2018年7月～9月期)の業況予測については、製造業が今期実績よりも11.1ポイント悪化しマイナス11.1になると予想している。建設業は今期実績より4.2ポイント悪化しマイナス8.3と予想している。一方、小売業は1.9ポイント改善しマイナス26.3、サービス業も8.6ポイント改善しマイナス8.4と予想しており、今期以上に業種間の格差が縮まることが予想されている。

商工会地域の景況感は、依然として業種間に差があるものの全体的には改善し、業種間の差も縮まる傾向にある。ただ、今後も原材料高や人手不足などが事業経営に影響を与える見込みであり、予断を許さない状況が続くと思われる。

(中小企業診断士 橋本大輔)

業界天気動向図

項目 業種	売上				採算(経常利益)				資金繰り			
	7 H ～ 9年 9月	10 ～ 12月	1 H ～ 30 3年 3月	4 ～ 6月	7 H ～ 9年 9月	10 ～ 12月	1 H ～ 30 3年 3月	4 ～ 6月	7 H ～ 9年 9月	10 ～ 12月	1 H ～ 30 3年 3月	4 ～ 6月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した

区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
	DI値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

(数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す)

業種	1位	2位	3位
製造業	1位にあげる問題点 生産設備の不足・老朽化	2位 原材料価格の上昇	3位 大企業の進出による競争の激化、原材料の不足、製品(加工)単価の低下、上昇難、需要の停滞
前期	18.2	9.1	—
今期	20.6	14.7	8.8
建設業	1位 官公需要の停滞	2位 請負単価の低下、上昇難	5位 材料価格の上昇、人件費の増加など
前期	23.8	14.3	—
今期	35.0	20.0	10.0
小売業	1位 大型店・中型店の進出による競争の激化	3位 同業者の進出、購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化、仕入単価の上昇	11.4
前期	13.2	—	—
今期	25.7	—	—
サービス業	1位 需要の停滞	2位 店舗施設の狭隘・老朽化	5位 新規参入業者の増加、従業員の確保難
前期	25.0	13.6	—
今期	32.6	16.3	7.0
			18.2
			11.6
			2.3
			9.3